

平成30年12月17日

新入生保護者 様

神戸第一高等学校
校長 内海 芳樹

平成31年度スポーツコースについて（お知らせ）

師走の候、保護者の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、平素は本校の教育活動に対して、ご理解とご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

さて、スポーツコースも設置6年目、スポーツ奨学生制度も10年目を終えようとしています。そこで、本校の将来構想としてスポーツコースをどう位置づけるかを見直し、改善について検討してきました。時代も高大接続改革を中心に大学入試制度改革、学習指導要領改訂などの変更が実施されようとしています。

学習指導要領の改訂では、2024年に全面改訂されるのに伴い、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善が必要になってきます。大学入試制度改革では、2020年から「大学入試共通テスト」に変わります。この改革では「学力の3要素」が必要とされ、学力を重視した内容への転換が図られようとしています。

このような状況の中で、本校としてもスポーツコースの生徒の進路決定に向けて、充実した教育内容・教育環境を整備し、確かな学力、豊かな心、基礎・基本の充実に図り、進路対策に取り組んでいかなければならないと考えています。

現在、5・6限「体育」として年間10単位実施していますが、実質は部活動であり、学習指導要領が示している目標を正しく達成することができていません。さらに、今後の高大接続改革を中心とする改革に対応することはできません。また、厳しい練習などによりスポーツ障害や事故を起こして退部などに結び付いている現状もあります。

勝利至上主義にならず、過度な練習の強要、生徒の自主性・個別性を軽視した運営にならないよう、ゆとりある生活を確保し、指導の充実、楽しく安全な運動部活動、開かれた運動部活動、持続可能な運動部活動に向けて学校教育の一環として正しく行われることが必要となってきます。

以上により、学校見学会や中学校等を通して、5・6限「体育」として実施することを連絡・説明していましたが、生徒の進路決定に対するよりよい教育内容・教育環境を整備し、本校スポーツコースの目的と特色を高めるために、平成31年度より5・6限を通常授業として、学力重視の内容転換に対応できるようにし、部活動は放課後に実施することとします。

スポーツコースの特色ある「科目」「学校設定科目」を設定し、積極的に資格や検定に挑戦できるようにします。また、練習時間、移動時間を確保するために、始業時間や時間割を工夫して充実した練習環境を確保したいと思います。放課後部活動にすることで、今まで授業で制限があった部分もこれからは部活動として思い切った活動が実施できるようになります。西キャンパスへ移動するクラブについては、バスの運行や施設使用料等、学校やPTA等で支援できる面は引き続き継続していきたいと思います。

最後になりますが、学校の趣旨をご理解いただき、スポーツコースがよりよい教育内容・教育環境の中で、特色・独自性を生かし、部活動においても活性化と強化を図り、練習時間・方法・内容を工夫するとともに、進路決定に向けて今後の入試制度改革に対応できるようにしていきますので、よろしくご理解とご協力の程お願い申し上げます。